

神の国の教え③神の国と再臨

ルカの福音書12章35-48節
2012,11,4 HKJCF

I 概観

序)①神の国と財産②神の国のライフスタイル

- | | |
|----------------|-------|
| 1、しもべと主人・泥棒の譬え | 35-40 |
| 2、二種類の執事の譬え | 41-47 |
| 3、管理者としての人生 | 48 |
| 4、適用 | |

II しもべと主人・泥棒の譬え

- 1、忠実で賢いしもべ
 - 2、愛と義に満ちた主人
 - 3、再臨への心構え
- ⇒私たちは初臨と再臨の間を生きている
神の子・旅人・忠実なしもべ(再臨待望)

III 二種類の執事の譬え

- 1、賢く忠実な執事
 - 2、愚かで不忠実な執事
 - 3、時間感覚・賜物の管理・所有欲
- ⇒弟子の生き方: 忠実な執事(管理人)

IV 管理者としての人生

- 1、再臨待望の信仰←神の子・旅人・執事
 - 2、管理者としての自覚
 - 3、主人の代理人として(主人の心)
 - 4、決算期への準備(説明責任)
 - 5、多く与えられたものは(神様の愛と義)
- ⇒地上の人生の目標・神様のみ心・賜物の管理

適用

- 1、地上の生活は一瞬: 永遠への準備
 - 2、再臨(決算期)を意識
 - 3、神のみ心にそった人生
- ⇒個人のビジョンと香港JCFのビジョン
⇒弟子の生き方: 忠実な執事(管理者)
: 財産・時間・賜物・人間関係・人生の完成